

日本地衣学会

No.136

ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次 会務報告	507
日本地衣学会第15回大会に参加して/甲斐 久博	507
日本地衣学会第15回大会および第40回青空地衣教室に参加して/堀江 直矢	508

会務報告 *Report of the JSL Activities*

日本地衣学会第15回大会に参加して

My Impression for the 15th Annual Meeting of JSL at Gifu, July 2016/ by Kai Hisahiro

>>>>>> 甲斐 久博：九州保健福祉大学薬学部薬学科

昨年から地衣類の研究を始めたのをきっかけに、昨年の久留米、今回の岐阜と2回の地衣学会大会に参加させていただきました。昨年は私の地元である九州での開催であったことも後押しとなりました。私の専門は生理活性物質の探索で、これまで高等植物に含まれる抗がん成分の探索や美白化粧品の成分などを単離精製、細胞や酵素等を用いて生物活性の評価を行ってきました。近年ではメタボロミクスの領域に着手し、単離精製することなく植物全体そのもの、すなわち混合物による多成分分析に取り組んでいます。

地衣学会大会に2回参加して、地衣類とは何か？という根本的なことがようやく分かってきた気がします。5年前、当時私は地衣の研究を始める前でしたが、地元の高校生にリトマスゴケからリトマス色素を単離するという実験のサポートを行っていました。非常に恥ずかしい話、私はリトマスゴケをコケ植物と認識

しており、それは間違いであることをこの学会で気づきました。菌類と藻類が共生関係を結んでできた複合体、共生関係という生態は非常に面白いと感じました。共生関係により生み出される化学物質が、他の高等植物では見られないような構造を持っていることに魅力を感じております。

また、大会に参加されている先生方の所属先が多種多様であることにも関心を持ちました。私の所属が薬学部であることから地衣成分、化学物質に注力しがちですが、本大会の参加を通して地衣の生態、分類も実に興味深く感じております。岐阜の大会の時は残念ながら講義があるため青空地衣教室に参加できませんでしたが、機会を見て是非参加していろんな地衣に出会いたいと思っています。自分の地元、宮崎県でもかつて綾町にて青空地衣教室が開かれたことをホームページで知りました。自然豊かな宮崎県で面白い地衣

類に出会えることが期待できそうです。地衣類の知識が十分備わったら、地衣類採集に出かけてみたいと思います。先生方のなかで宮崎県に地衣採集にお越しく

ださる方がおいでなら、喜んで協力したいと思います。空港まで車でのお迎えにあがります。これからも、どうぞよろしく願い申し上げます。

日本地衣学会第15回大会および第40回青空地衣教室に参加して

My Impression for the 15th Annual Meeting of JSL and the 40th Outdoor School on Lichens, Gifu, July 2016/ by HORIE Naoya

>>>>>>> 堀江 直矢： 関西大学天然素材工学研究室

二年前に地衣類の研究を始めてから、今回で3度目の地衣学会大会に参加させていただきました。私は大学で地衣菌の成長をテーマとして研究しています。しかし、扱っている菌種自体は少ないため、大会に参加させていただくたびに、菌の多様さやその複雑さに驚かされていました。特に分類については、形態観察による違いや分子生物学的な観点から分類されており、ほとんど見た目が同じものでも違う種であるというのはとても面白いと感じました。

また、青空地衣教室も含め、地衣学会大会に初めて参加した時からとてもアットホームな感じがしました。研究の内容なども気軽に聞かせていただく事ができ、とても良かったです。

そして青空地衣教室ではいくつもの驚きがありま

した。地衣類が想像していたよりも水に近いところに生育していたり、崖の上の一つの岩にしか生育していないものがあったりと、自分の考えていた以上に不思議な生態をしているのだと感じました。また種ごとのわずかな違いや、試薬による変色で見分けるのは素人目では難しいなと感じました。しかし、説明を聞き、見分け方を知った上で見てみると、ここが確かに違っていると気づき感動しました。

今回の大会では発表させていただいたのですが、自分の考えが及んでいなかったところや、自分の持っていなかった意見など大変参考になる意見をいただきました。学会で得た意見を、今後の研究の糧として、これからの研究に取り組みたいと思いました。

●複製される方へ

本誌に掲載された著作物を複製したい方は、許諾を受けてください。詳細は本誌 102号 378 ページに。

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission. For details, see No. 102, p. 378 of this publication.

● *Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*, no. 136, pp. 507-508: eds. Nakashima H., Bando M., Kawakami H. & Harada H., published by *the Japanese Society for Lichenology*, 23 Sept. 2016.

日本地衣学会ニュースレター 136号

発行日：2016年 9月 23日

編集： 中嶋裕之・坂東誠・川上寛子・原田浩

発行者・発行所：日本地衣学会

〒658-8588神戸市東灘区本山北町4-19-1

神戸薬科大学 薬化学研究室

©2016日本地衣学会 (© 2016 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複写等は固くお断りいたします。